

保育課程 保育園夢未来

理念		0歳から就学前までの子育てを総合的に支援する											
保育方針		1.多様なニーズに応え、安心安全に預けられる保育。 2.子どもたち、一人一人の個性を尊重し長所を伸ばす保育。 3.常に家庭的環境を意識し、人間形成の基礎を養う保育。		4.豊かな感性を持ち、主体的・意欲的に生活し、自分を表現できる子どもに育てる。 5.仲間や周りの人々の存在を大切に思い、協力し助け合い喜びにできる子に育てる。		保育目標		1.個々の生命の維持と情緒の安定を図る。 2.基本的な生活習慣を身につけられつようにする。 3.生活や遊びの中で物事をよく見つめ考え探求する心を育む。 4.心身ともに健康で思いやりのある子を育てる。		保育時間 7:30 ~ 21:30			
社会的責任		人権尊重		説明責任		情報保護		苦情解決		主な行事			
適切な施設として家庭や地域に対し、保育園の役割を果たす。		保育士は保育の営みが子どもの人権を守るために法的、制度的に裏付けられることを認識し、理解する。		保護者・地域と連携を図り、透明性のある運営を行うこと一方向的「説明」でなく分かちあふべき「説明」をする。		保育に当たり知り得た子どもや保護者に関する情報は、正当な理由なく漏らしてはならない。(児童福祉法第18条の22)		苦情対応窓口、担当者、苦情解決責任者、第三者委員の設置を行ない、書面における体制の整備を行なう。全職員間にて共通理解を図る。		入園式・保護者会・園外保育・夏祭り・運動会・卒園式・誕生会他季節の伝統行事等			
発達過程				地域の実態に対応した事業				長時間保育		小学校との連携			
保育所保育指針の8つの発達段階を前提に年齢別に分かれて指導計画がなされている。又子ども一人一人の成長段階をふまえ、養護と教育が一体となり保育は展開される。				周りに新しいマンションが増加し若年層の夫婦が多い。地域のニーズにより一時保育を行い地域の子育てを応援する。				子どもの発達、生活リズム及び心身の状態に十分配慮し、通常保育とのバランスを考慮し一日の疲れや保護者を待つ気持ちを受け止め、温かい対応を行なう。家庭との密接な連携を行なうと共に、職員間の協力体制と子どもの正確な情報の伝達を通し、子どもが不安を抱くことなく過ごせる環境と保育を確保する。		・保育所児童保育要録を小学校へ送付			
		0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児			
子どもの保育目標		個々の生活リズムを整え基本的な生活習慣を養う		安心できる保育者との関係の下で自分であろうとする気持ちが芽生える		衛生的で安全な環境で心身ともに快適な生活を送る		保育者や友達と遊ぶ中で自分のしたいこと、言いたい事を言葉や行動で表現する		保育者や友達と一緒に遊びながらつなぐ力を広げ集団としての行動ができるようになる			
		5歳児		就学前									
		生活や遊びの中で一つの目標に向かい力を合わせて活動し達成感や充実感をみながら味わう		集団活動の中で意欲的に活動し知識や能力を獲得する									
		就学前(到達点)											
養護		生命の保持		情緒の安定		健康		人間関係		教育			
年齢		生後43日～6か月		6か月～1歳3ヶ月未満		1歳3ヶ月～2歳未満		2歳児		3歳児			
環境		・家庭との連絡を密に取り、一人一人の健康状態を把握し、生活リズムを整えていく。 ・生理的欲求を満たし、気持ちよく生活できるようにする。		・スキンシップにより、保育士との関わり心地よさ、安心感を得るように接する。 ・おむつを替えてもらい、心地よさを感じる。 ・戸外で遊ぶ。		・保育士との信頼関係を育みながら快適な生活や生理的欲求を満たすことができるようにする。 ・身の周りの簡単なことを自分でしようとする気持ちが芽生える。 ・安定した睡眠を取る。		・基本的生活習慣の習得を、個々に合わせて援助し、一人でできた喜びを味わい、自信が持てるようになる。 ・生活の流れや基本的生活習慣を身につけるよう援助する。 ・身の周りを清潔にし、生活に必要な活動を自分でしようとする。 ・戸外で体を動かして遊ぶ。		・身の回りのことなど自分でできることは自分でする。 ・自分の体調の変化に気づくようになり、運動量も増し活発になるので十分な運動ができるように配慮する		・基本的な生活習慣が身につく、自分でできることに自信や満足感を持つようになる。 ・運動と休息のバランスや調和を取り、基本的生活習慣を身につける。	
言葉		・保育士との関わりにより信頼関係を育み、人間関係の基礎を作る。 ・甘え等の依存欲求を受け止めてもらって、安定し安心感を持って過ごす。		・保育士に欲求を受け止めてもらい親しみと安心感を持って生活する。 ・保育士との関わりで安定した生活を過ごす。		・保育士に見守られながら、身近な大人や子どもにも関心を持ち、関わろうとする。 ・保育士との信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表わす事ができる。		・自分の気持ちを言葉やしぐさで伝えながら友だちと一緒に遊ぶ中で相手の気持ちの思いに触れる。 ・友だちと同じ活動に参加して、みんなと一緒にすることを楽しむ。 ・簡単なルールのある遊びが分かるようになり、きまりや約束事を守らうとする。		・人からの親切に対して、心地良さを感じ、友だちの気持がわかる、親切にすることを喜ぶ。 ・みんなで協力し一つの目標に向かって頑張る事の大切さや素晴らしさを知る。 ・身の周りの様々な人に関心を深め、親しみをもち接する。		・社会生活における、決まり事を理解し、必要な習慣や態度を身につけ自分の力で行動する。 ・遊びや行事を通して友だちを応援したり、力を合わせる事の大切さをしる。	
表現		・安心できる人的、物的環境の下で感覚の動きをゆたかにする。 ・言葉のかけかたにより、言葉を理解し、喃語でこたえたり、身振りで伝えようとする。		・好きな玩具や遊具に興味を持ち、様々な遊びを楽しむ。 ・毎日の生活の繰り返しの中で、生活リズムの流れがわかるようになってくる。 ・保育士の語りかけを喜び、言葉を使う事を楽しむ。 ・保育士と一緒に言葉の繰り返しを楽しみ、手遊び、つもと遊びをしながら言葉を覚えていく。		・身近な自然(動植物や季節の移り変わり)に触れ合う中で、好奇心や探究心が生まれてくる。 ・戸外遊びを通じ、経験したことを遊びに取り入れるなど、豊かな感性や、好奇心が養われる。 ・色・数・量・形の違いに気づく。		・絵本や紙芝居などを楽しんでその内容の面白さを伝える。 ・自分の考えを言葉に変えて表現できる。 ・生活や遊びの中で簡単な言葉のやり取りを楽しむ。 ・絵本や紙芝居などを楽しんで見たり、聞いたり、繰り返しのある言葉の模倣を楽しむ。		・身近な物や遊具に興味を持って関わり考えたり、試したりして、工夫して遊ぶ。 ・自然現象の美しさ、不思議さに感動する。 ・日常生活に必要な物を注意深く見たり、扱ったりして数量・図形・時間・位置の違いなどに関心を持つ。		・絵本などに興味を持ち、イメージを広げながら友だちとの会話を楽しむ。 ・人の話を聞いたり自分の体験したことを話したりして伝え合う楽しさを味わう。 ・生活の中で様々な音・色・形・手触り、動き、味、香り等に気付いたり感じたりして楽しむ。 ・感じたこと表現した事を言葉・音・音楽・造形など自由な方法で感性豊かに表現して楽しむ。 ・イメージをふくらませ、豊かに表現する。	
食育		安定した人間関係の中で、適切な援助により食に対する意欲を持つ。		・保育士と一緒に歌ったり手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたり遊ぶ。 ・音の出る玩具を振ったり、音楽に合わせて体を動かす。		・保育士と一緒に歌ったり手遊びをしたり、体全体、両手両足をしっかりと使って遊ぶ。 ・興味を持った素材に接触して感触を楽しみ感性を育む。		・いろいろな種類の食べ物や料理を味わう。 ・食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心を持つ。 ・楽しい雰囲気の中で食事のマナーを身につける。 ・保育士や友だちと一緒に食べる楽しさを味わう。		・食事に必要な習慣、マナーを知り、自ら進んでおこなう。 ・いろいろな食べ物に興味を持ち健康な体づくりをする。 ・健康と食べ物との関係について感心を持ちながら食事をとる。 ・季節の食に関心を持ち、積極的に食に関わる。		・食事と栄養のバランス(三食表)に興味を持ちながら食事をとる。 ・食べ物に感謝の気持ちを持ち、食を楽しむ。	
健康支援		・健康発育発達状態の把握・心身状態や家庭生活養育状態の把握・内科健診				研修計画		・本部研修・交換研修・認証保育所研修・園内研修(保育内容・役割別等)・外部講師による研修					
環境・衛生管理		・施設内の設備用具等の清掃及び消毒・安全管理及び自主点検(月一回)・ぎょう虫検査(年一回)・全職員の検				特色のある保育		・英語教室・体操教室等					
安全対策・事故防止		・毎月の避難訓練(火災・地震・防犯)・消火訓練・引渡訓練(年一回)				地域への行事参加		・町内会のおまつり・ハロウィン散歩					
保護者地域への支援		・育児相談支援・実習生、職場体験、ボランティアの受け入れ				自己評価		年間計画や週案、個人行動記録をもとに行う					